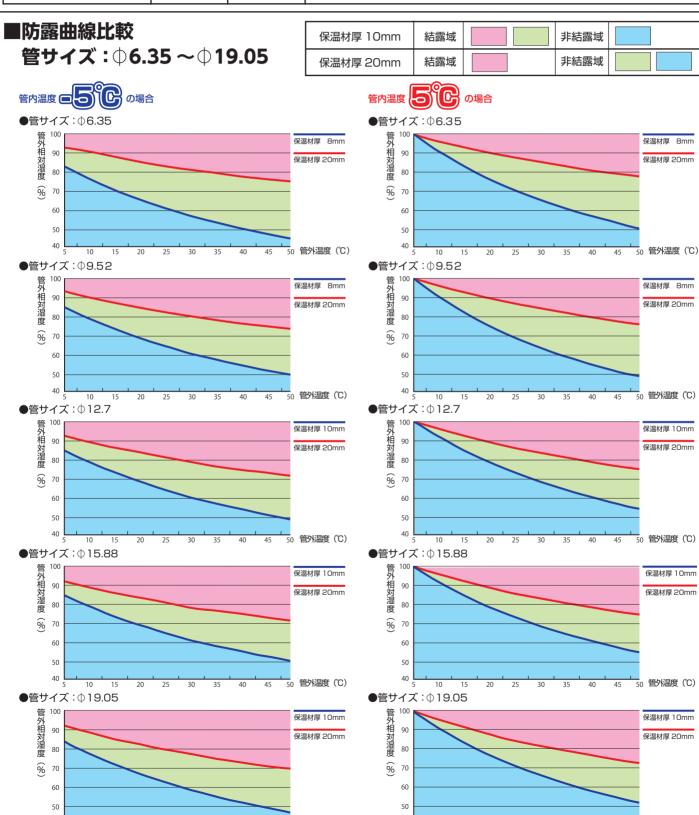
■JIS A9511:2017

発泡プラスチック保温材の種類及び記号

	種 類	製品記号	特性		
ポリエチレンフォーム 保温材	保温筒2種	A-PE-C-2	ポリエチレン又はその共重合体に発泡剤及び添加剤を混合して、板状若しくは筒状に発泡成形したもの、又は板状若しくはシート状に発泡させた後、筒状に加工した保温筒。保温板は、熱伝導率によって 1 種~ 3 種に区分しており、保温筒は、厚さ収縮率によって 1 種及び 2種に区分している。使用温度の目安は保温板では 70℃以下、保温筒では 1種が 70℃以下、2種が 120℃以下である。表面、裏面、または表裏面に面材を接着したものもある。		

保温材厚 10mm	結露域	非結露域	
保温材厚 20mm	結露域	非結露域	

50 管外温度 (°C)



50 管外温度 (°C)

(2)

- ●グラフの線より上の領域で結露します。
- ●グラフの数値はあくまで参考値であり、機器の設備場所の環境条件や地域によっても変化します。

グラフの計算式条件

- ①結露域算出の計算式は、JIS A 9501:2019(保温保冷工事施工標準)による。
- ②表面熱伝導率は、8W/(m・k)とする。
- ③保温材の熱伝導率は、JIS A 9511:2017では、0.043W/(m・k) 以下(平均温度 23℃)となっているが、

実際の実測値の数値とする (3) ■防露曲線比較 保温材厚 10mm 結露域 非結露域 管サイズ: ⊕22.22 ~⊕38.1 非結露域 保温材厚 20mm 結露域 (4) 管内温度 一気 の場合 の場合 ●管サイズ: 022.22 ●管サイズ : ⊕22.22 管外相対湿度 管外相対湿度 保温材厚 10mm 保温材厚 10mm (5) 90 90 保温材厚 20mm 保温材厚 20mm 80 80 $\widehat{\%}$ % 70 70 60 60 (6) 50 管外温度 (℃) 50 管外温度 (°C) 45 ●管サイズ: 025.4 ●管サイズ: ⊕25.4 管外相対湿度 管外相対湿度 保温材厚 10mm 保温材厚 10mm (7) 90 90 保温材厚 20mm 保温材厚 20mm 80 80 % % 70 70 (8) 60 60 50 管外温度 (℃) 50 管外温度(℃) 20 25 30 35 40 45 15 20 25 30 35 40 45 ●管サイズ: 028.58 ●管サイズ: ⊕28.58 管外相対湿度 80 (9) 100 管外相対湿度 保温材厚 10mm 保温材厚 10mm 90 保温材厚 20mm 保温材厚 20mm 80 % % 70 70 (10)60 60 50 50 40 40 管外温度 (℃) 管外温度 (℃) ●管サイズ: ⊕31.75 ●管サイズ: \$\\$1.75 (11)管外相対湿度 80 80 100 管外相対湿度 保温材厚 10mm 保温材厚 10mm 90 保温材度 20mm 保温材厚 20mm 80 % 70 % (12) 40 40 50 **管外温度**(℃) 管外温度 (℃) 30 (13) ●管サイズ: 038.1 ●管サイズ: 038.1 100 100 管外相対湿度 管外相対湿度 保温材厚 10mm 保温材厚 10mm 90 90 保温材厚 20mm 保温材厚 20mm 80 80 (14)% % 70 60 60 管外温度 (℃) 40 45